

■他学科開放科目

幅広い学修を志したいと思う学生は、他学科の専門教育科目を履修し卒業単位に含めることができます。

(1) 履修可能科目

| 学科 | 科目群 | 授業科目 |
|-------------------|--------|---|
| 現代コミュニケーション 学科 | 基幹科目 | 日本語コミュニケーション、メディア読解法、コミュニケーション技法、Active English I、Active English II |
| | キャリア科目 | TOEIC 英語、英検英語 I、英検英語 II、秘書学概論、ビジネス会計 I、ビジネス会計 II、経済学、Hospitality English、カラーコーディネート、ファッション文化論、ブライダルビジネス I、アロマセラピー |
| 食物栄養学科 | 基礎教育科目 | 英語表現力、日本茶アドバイザー、チーズ検定 |
| | 展開科目 | 食品加工学特別実習、食品加工学フィールド演習 特別研修（テーブルマナー）、フードコーディネート論、テーブルマナー ージメント |

(2) 履修人数に制限のある科目は、当該学科の学生の登録を優先します。

(3) 履修した単位は、基礎教育科目の選択科目の単位となります。

■人間社会学部の科目の履修

静岡英和学院大学と静岡英和学院大学短期大学部は、大学間の交流と協力を推進し大学教育の活性化と充実に資するとともに、意欲ある学生に対して多様な学習機会を提供することを目的として 2009 年度より単位互換制度を実施しています。

これにより、次の静岡英和学院大学の授業科目を 8 単位を超えない範囲で履修することができ、卒業単位に含めることができます。(学則第 17 条 他大学における授業科目の履修等)

単位互換科目を修得した場合は、基礎教育科目の選択単位に含めます。履修人数には上限があるため、調整する場合があります。単位互換科目は次のとおりです。

| | 人間社会学科 | コミュニティ福祉学科 |
|---------------------|----------------------------|--------------------|
| 英語リスニング & スピーキング I | | |
| 英語リスニング & スピーキング II | 心理学基礎 | 人間社会総論 |
| 英語ボキャブラリービルディング | 心理学研究法 | 福祉とキリスト教 |
| フランス語 I | 心理統計法 I | 社会学基礎 |
| フランス語 II | 心理学実験演習 I | 経済学基礎 |
| ドイツ語 I | 発達心理学 | 社会福祉総論 I |
| ドイツ語 II | 教育学校心理学 | 社会福祉総論 II |
| スポーツ実技 I | 学習言語心理学 | 地域福祉論 I |
| スポーツ実技 II | 心理学特殊講義 | 地域福祉論 II |
| 地域創造フィールドワーク | 経済学基礎B (再履修クラス) | 教育原理 |
| | ミクロ経済学 | 幼児教育課程総論 |
| | マクロ経済学 | ソーシャルワーク論 I |
| | マーケティング論 | ソーシャルワーク論 II |
| | 簿記原理 | ソーシャルワーク論 III-I 基礎 |
| | 民法 | ソーシャルワーク論 IV-I 応用 |
| | 商法 | 高齢者福祉論 |
| | ビジネスと法 | 介護概論 |
| | 観光学 I | 障害者福祉論 |
| | 文化観光論 | 社会保障論 I |
| | 社会調査法 | 社会保障論 II |
| | アンケート調査法 | 公的扶助論 |
| | 観光地域フィールドワーク論 | 社会理論と社会システム |
| | 地域社会学 | 福祉組織経営論 |
| | イギリス文化論 | 医療福祉論 |
| | Communicative English I・II | 社会調査法 |
| | 国際ビジネスコミュニケーション | 児童家庭福祉 |
| | 国際観光コミュニケーション | 保育内容総論 |
| | 日本伝統文化論 | 社会的養護内容 |
| | 日本近代文化論 | 教育心理学 |
| | 演劇論 | 発達心理学 |
| | | 教師論 |
| | | 教育社会学 |
| | | 教育方法論 A |
| | | 教育方法論 B |
| | | 音楽療法入門 |
| | | 海外福祉現地研究 |
| | | I・C・Tと福祉 |
| | | 障害者スポーツ |

■静岡大学農学部との単位互換

2013年度から単位互換協定に基づき、静岡大学農学部の一部の科目を6単位まで履修することができます。基礎教育科目の選択科目の単位となります。